



やあ!

ya!

URL:<http://tia21.or.jp/>

E-mail:tia@tia21.or.jp



▲講師のアビー・ニコラス・フリュウ氏（左上） 写真下段は診察時の通訳を想定したグループワーク

「医療通訳ボランティアセミナー」

平成26年11月29日（土）に、医療通訳ボランティアセミナー「医療通訳がいなければ～外国人患者と医師の橋渡し役がいないと困ること～」をとちぎ国際交流センターで開催し、24名が参加しました。

講師は、神奈川県を拠点に医療通訳として活躍しているアビー・ニコラス・フリュウ氏。セミナー前半は、外国人患者の現状や医療通訳をするために必要な心構えと知識、よくある問題などについて具体的な事例を交えながら講義を行いました。後半のグループワークでは、参加者がそれぞれ医師役、患者役、通訳役に分かれ、医療現場を想定したシナリオを使ってロールプレイを行いました。

参加者からは、「非常に実用的でわかりやすかった」、「国によっては病名の告知をしないなど想像もしていなかった事例がわかり勉強になった」、「患者さんの自立精神を促すことが重要であることは大きな学びだった」など様々な感想が寄せられました。

2015年3月号

No.130

Spring

国際交流団体紹介

とちぎに暮らして…

JICA 情報局

TIA インフォメーション

まちなか・せかいネット

ーとちぎ海外協力NGOセンター

柳 君清 さん(中国出身)

JICA ボランティア春募集

外国人相談にベトナム語始めます!

相談員・通訳協力者実務研修会

「外国人と労働・社会保険 ～安心して働くために～」

平成26年度第2回相談員・通訳協力者実務研修会を1月9日(金)とちぎ国際交流センターで開催し、各市町等で外国人の相談に携わっている相談員や通訳協力者など20名が参加しました。

今回の研修会は、「外国人と労働・社会保険～安心して働くために～」と題し、社会保険労務士として、また行政書士としても活躍されている深見史氏を講師にお招きしました。

講演は、労働者災害保険・雇用保険・健康保険・年金の制度の概要、在留資格による就労制限、入管法と国民健康保険法がからむ問題、相談での対応を想定したケーススタディなど、大変実用的な内容でした。



▲パワーポイントを使って説明する深見氏

ケーススタディではグループに分かれ、対応方法について活発な話し合いが行われ、多くの意見が発表されました。また、その後の深見氏の様々な

側面を考慮した解説により、知識と理解が深まりました。参加者からは、「具体的な事例を聞くことで、背景や依頼者のニーズがわかってきたように思えた」、「ケーススタディがとても勉強になった」などの感想がありました。

「感情とコミュニケーション

～文化による感情の表し方の違いとは？」

国際理解教育の担い手となる人材を育成する「国際理解教育実践セミナー」が1月24日(土)とちぎ国際交流センターで実施され、教員や一般県民、計32名が参加しました。

講師は、宇都宮大学国際学部国際文化学科で「対人コミュニケーション論」、「異文化コミュニケーション」などを教えている中村真教授。セミナーでは、「感情とコミュニケーション」をテーマに、文化による感情の表し方の違いなどについて講演していただきました。



▲感情とコミュニケーションを説明する中村氏

参加者は、人の表情や感情はどのように作られるかという基本的な情報を始め、表情や感情の表し方はコミュニケーションにおいて大切な役割を担っていること、また、

表情や感情は相手に伝染してしまうことなどを学びました。また、日米間、日韓間、日中間の大学生の感情表出を比較したデータから、文化や性別によって感情の表し方が異なることなどを興味深く聞きました。

「草の根技術協力事業 マレーシアへ専門家派遣」

草の根技術協力事業「マレーシア・サラワク州クチン市における環境保全と廃棄物処理対策（バコ村プロジェクト）」(平成24年度～26年度)に係る専門家派遣が2月5日(木)～13日(金)に行われ、茂木町、JICA、TIAの職員3名がモデル地区であるクチン市バコ村を訪問しました。



▲品質の良いコンポストを作成するジャファール氏

本事業は3年間に渡る研修員受入及び専門家派遣で大きな進展がありました。その一つは、生ごみの有効活用及び排出量削減のため、バコ村内3か所にコンポストセンターが設置されたことです。研修員として茂木町でコンポスト作成を学んだジャファール氏が運営するセンターのコンポストは特に品質が優れており、すでに販売されています。その他、環境改善のための活動として、住民主体でゴミ清掃が定期的に行われたり、小中高校においてゴミ分別の大切さやゴミのポイ捨てをやめることなどを学ぶ環境教育が実施されるようになり、バコ村住民の環境に関する意識の高まりが感じられました。

本事業終了後は、バコ村住民が自らアクションプランを進めることとなります。バコ村の環境がさらに良くなることを期待しています。

TIA外国語講座「おもてなしの中国語」



▲授業風景。グループに分かれて行う。

TIA外国語講座の初の試みとして、今後ますます増えると思われる海外からの観光客に対応するため「おもてなしの中国語」を1月29日から2月26日まで毎週木曜日の3時間、全5回の短期集中型で開催しました。

講師は台湾出身で、昨年度まで当協会の多文化共生事業の中国コースを担当していた江島玉華^{ゆいほあ}氏。受講者は8名で、実際に観光業に従事している方も受講されていました。毎回、テーマごとに接客などに使える会話をロールプレイングしながら練習しました。語学のほか、映像を使った観光案内、中国語の歌なども取り入れ、受講者は和気あいあいとした雰囲気の中で、楽しく学んでいました。

「多文化共生出前講座 & 多文化ソーシャルワーカーフォローアップ研修」

TIAでは、地域で生活する外国人と日本人が共に暮らしやすい地域づくりをすすめる活動の一環として、外国人が抱える様々な生活課題に対し、文化的・社会的背景をふまえながら社会福祉等の専門的な知識を活かして援助をする「多文化ソーシャルワーカー」を養成するセミナーを実施するとともに、こうした知識を有する者を講師として派遣する「多文化共生出前講座」を行っています。

◆多文化共生出前講座◆



1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

1月11日(日)、宇都宮市中央生涯学習センターで行った出前講座には、TIAの職員が講師として出向き、NPO栃木タイムズが定期的に開催している法律講座の受講生8名が

参加しました。「国際結婚」をテーマに全国的な動向や栃木県の現状、良い点や問題点等について講義を行った後、参加者間でディスカッションが行われました。外国につながる参加者が多く、

それぞれの経験に基づく活発な意見交換を行いました。

◆多文化ソーシャルワーカーフォローアップ研修◆

2月14日(土)には、とちぎ国際交流センターにおいて、平成25年度と平成26年度の多文化ソーシャルワーカー養成セミナー修了者等を対象としたフォローアップ研修を開催しました。これは、円滑なソーシャルワーク活動をするために外国人の抱える問題について理解を広げるためのもので、23名が参加しました。

前半は、「外国人のメンタルヘルス」をテーマに、県精神保健福祉センター所長の増茂尚志氏が講師となり、心の健康、社会適応、ストレス、精神障害者



▲増茂氏によるメンタルヘルスの研修

福祉など精神疾患全般に関する内容を把握した後、患者の支援方法やメンタルヘルス分野の外国人患者の具体的な援助例などについて学びました。

後半は、様々なバックグラウンドを持つ養成セミナーの修了者同士が、連携して外国人支援活動ができるよう、個々の活動内容を発表し合うとともに、ネットワークづくりについて話し合いました。

国際交流団体紹介 「まちなか・せかいネット -とちぎ海外協力NGOセンター」

私たちは県内の海外協力NPOのゆるやかなネットワークとして2007年に発足したグループです。

当時各NPOは長年活動するも、なかなか広がって行かないという悩みがあり、共働してイベントなどを開催してはどうかと考えました。より効果的な活動、海外協力の思想が市民に受け入れられることを目的に設立しました。



▲FT商品やエスニック料理の販売ブースも多くの人で賑わった

ミニイベントのほか、恒例事業として宇都宮の中心部でFTまつりを開催しています。来場者は年々増え、昨秋の「第5回フェアトレードまつり」は約3,000名の市民で賑わいました。世界各地の産品や料理のブースが並ぶほか、キッズコーナーや華やかな

ステージも用意しました。また、FTを紹介し、わかりやすく伝える工夫として文星芸術大学の協力を得てFTの4つの事例(コーヒー、チョコレート、手工芸品、サッカーボール)をマンガに表したパネル展示等もあります。



▲キッズコーナーでゲームを楽しむ子ども達

またいつでもFTの産品に触れることができるよう「とちぎフェアトレード産品取扱店マップ」も発行しています。



▲展示コーナーには熊本市の先進事例も

1400以上のタウンがあり、熊本市が日本初の認定を受けています。私たちは宇都宮市がFTタウンになるという夢を持って、この活動に取り組んでいきたいと思ひます。(文・代表 吉田ユリノ)

とちぎに暮らして… Living In Tochigi

柳 君清 (リュウ クンセイ) さん

中国・ハルピン出身、益子町在住。
日本滞在は20年以上。中国語を教えるほか、
中国政府公認の茶芸師の資格を活かし、中国
茶の紹介も行っている。夢は船で世界一周！



—こんにちは。日本に来たきっかけについて教えてください。

中国で教育を学び教員免許も取ったのですが、もっと成長したいと思い海外に目を向けたところ、親戚のいる日本に行ってみようという気持ちになったんです。日本語学校で日本語を学んだ後宇都宮大学に進みました。その後、栃木市の企業に就職、現在は益子町に転居して、中国語を教えています。

—中国語を教えるのはいかがですか。

教育について学んだことが活かされていると思います。授業中に集中できる時間というのは限られているので、やり方を工夫していますし、目標を示したり、励まし声かけなど心理的アプローチもとても大切だと思っています。さらに、言葉だけでなく文化も伝えたいと思い、中国茶の勉強をして教室でわかりやすく紹介しています。

—中国茶はどちらで学ばれたんですか。

実は息子の悠太が小学3年生の終わりに、中国の小学校に2年

間留学したんです。私も一緒に中国に行き、息子が学校に行っている間、私は中国茶の勉強をしました

—すごいですね。中国での息子さんの様子はいかがでしたか。

どこでも楽しめるタイプなので、友達とも仲良くやっていました。でもやはり、勉強は大変だったようです。幼い頃から私とは中国語で会話をしていたので話せるのですが、読み書きができなかったのが最初は小学1年に、翌年は小学4年のクラスに入りました。中国では、困ったときに助けてもらったので、今は困っている人を助けてあげるようにいつも話しています。

—中国と日本の学校の違いは何でしょうか。

息子は中国の先生の方が厳しいと言っています。確かに、親に対しても日本よりはっきり注意してきます。そのお陰で、いじめも少ないように思います。また、こちらでは徒歩通学が多いですが、中国では交通事情のため保護者や個人契約のバスが子どもを送迎しています。

—今後の抱負を聞かせてください。

中国と日本の経済交流がより活発になるよう、通訳として活躍できる機会があればと思っています。



▲悠太君の留学先の北京にある天壇公園で

JICA 情報局

☆青年海外協力隊 50 周年☆ JICA ボランティア募集



みなさんこんにちは！

2015 年は、青年海外協力隊が初めて途上国に派遣されてから 50 周年を迎える節目の年です。累計隊員数は約 4 万人、栃木

県からもこれまで多くの方にご参加して頂いており、2014 年末で累計 569 名が 80 か国に派遣されています。

任国での協力隊活動は、一筋縄ではいかない様々な困難にも対応する柔軟性を育て、現地の人々との対話を大切に問題解決に至るプロセスは、多くの隊員を成長させてきました。

帰国後は日本社会、国際社会、それぞれの環境で活躍しており、昨今は協力隊 OB を雇用したいという企業からのリクエストも多くなってきています。あなたもこれまでの経験を国際協力に活かしてみませんか？

シニアボランティア・青年海外協力隊合同募集説明会 & 体験談

【日時】4月11日(土) 14:00-16:00

【会場】とちぎ国際交流センター

【おすすめ企画】

語学に対する不安解消！合格ラインを目指して！

選考時に必要とされる語学スコアをクリアするためにアドバイスを行います。その他、個別相談対応有。

【問い合わせ】JICA 栃木デスク 028-621-0777

4 月からベトナム語の相談始めます！

TI A では、外国人などからの相談に英語、ポルトガル語、スペイン語で毎日対応していますが、4 月からベトナム語でもご相談いただけます。

周りのベトナムの方にぜひお知らせください！

ベトナム語 毎週火曜日 9:00~12:00

相談方法 電話または面談

相談専用電話 028-627-3399

お気軽にご利用
ください♪

*日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語は、火~土 9:00~16:00 の対応で変更ありません。



TI A ご案内図

編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会
住 所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
F A X 028-621-0951
業 務 時 間 8:30~17:15
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日